

2025

令和7年度 建築士の日事業

(播磨の国)

ひょうご

in 姫路

ぼうさい建築祭

阪神淡路大震災から30年になります。この30年間で、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震が発生し、多くの方が犠牲となりました。さらに、気候変動に伴う豪雨災害が多発し、また南海トラフ地震は近い将来必ず起こると言われています。

(公社)兵庫県建築士会では、兵庫県や県下の各市町と連携を取りながら、防災・減災について考える機会を設け、ひょうご五国を巡りながら災害に備える様々な準備、活動をしていきます。

【岩屋北町3丁目より北を望む(写真提供:神戸市)】

■建築士の日について

日本建築士会連合会は、7月1日を「建築士の日」と定め、広く社会に向けて建築士の活動をアピールする企画をおこなっております。兵庫県建築士会では「建築士の日」事業として、本年度は、『ひょうごぼうさい建築祭』をひょうご五国の一つ【播磨の国】で、防災・減災について、今一度考える機会〔講演会〕〔展示等〕〔相談会〕を設け、そして別日に〔実習講座〕を実施いたします。

8/31

日曜日

13:00

~16:30

無料



イーグレひめじ B1F アクセスQR

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-290

講演会

14:00-15:30 (受付13:30~)

「山崎断層と南海トラフ地震」



～瀬戸内の津波リスク、県内における土砂災害事例等～ 申込QR
定員100名(申込みは右QRコードにて。当日の参加も可です。)

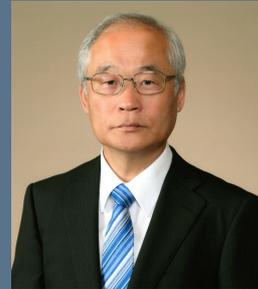
展示等

13:00-16:30

パネル展示 耐震補強事例など

VTR上映 阪神淡路大震災の記憶

講師



にしかけ ひろかず
西影 裕一 氏

はりま地盤・地震研究会代表
日本地震学会会員
山崎断層を45年に渡り研究
元姫路科学館勤務
著書「自然災害で被害なんかにあいたくない」
等出版
新聞、テレビ、ラジオ等マスコミに出演多数

相談会

13:00-16:30 (受付12:45-16:00)

耐震に関する無料相談

建築士が住宅の耐震をアドバイス

定員 先着10組(事前申込要 右QRコードにて)
(図面などの資料をご持参ください)



申込QR

予告

【実習講座】10月4日(土)

「応急危険度判定士」被災建物を想定して実地訓練(一般市民は見学)

いえづくり
まちづくり・
ひとづくり
兵庫県建築士会



(CPDプログラム認定申請中)